

学びのガイドライン

Grade 1

目次

はじめに 2

本編

Lesson 1 5

Lesson 2 19

Lesson 3 33

資料編

DVD の使い方 48

はじめに

本プログラムは、児童が夢や希望を膨らませ、国際コミュニケーションツールとしての英語を使って、自分の夢“DREAM”を語るができるような姿を一つの目標に、小学校での6年間の英語の学習をサポートするプログラムです。

■ 5つの特徴

1. Develop 4 skills (4技能の育成)

児童の発達段階、学習年齢を踏まえ、コミュニケーションに不可欠な4技能（聞くこと・話すこと・読むこと・書くこと）をバランスよく育成していくプログラムです。学習素材は、技能ごとにそれぞれ完結したうえで、各々が相互に関連付けられており、自然な流れの中で、総合的により高い定着をめざすものとなっています。

英語の4技能をバランスよく身に付けるため、英語の綴り字（文字）と発音（音）の関係を重視したフォニックスという指導法を活用しています。グレード1からグレード4までの間に、基本となるサウンド・パターンに一通り触れます。

2. Round Style (積み重ね方式)

課程外の時間を活用し、週3回、1回10分～15分程度のモジュールでの活動を基本に設計しています。限られた時間で高い効果をめざすため、これまでの英語学習で圧倒的に不足していたインプットを軸に、多くの「英語の音」に触れ、積み重ねていくことで、児童が楽しみながら自然に体得していく、ラウンド方式のプログラムとなっています。

ラウンドは、単純に同じことを繰り返すのではなく、すべての活動に意図したねらいがあり、これにより児童の無理のないステップアップをサポートします。教員（学級担任）には、英語を教えるのではなく、コミュニケーションをしながら、雰囲気を作ったり、気付きを促したり、モジュール活動のファシリテーターとして、こうした児童の学びを支える役割を期待しています。

3. Epoch-making (時代を先取る)

グローバル化の進展を見据え、小学校・中学校・高等学校を通じての英語学習を考えて開発したプログラムです。

小学校段階から無理なく英語を学び、小学校卒業段階で公益財団法人日本英語検定協会が実施する実用英語技能検定5級相当程度の英語力がつくことをめざしています。

特に、テーマに応じた表現は、日常的によくある状況において、言語を用いて実現したいこと（機能）を組み込み、児童が英語を「使う」ということをより意識した内容となっています。また、テーマは、児童の身近なものから、学年の進行に応じて徐々に、より広い世界の抽象度の高いものへと展開するようになっています。完全オリジナルのアニメーションは、児童の成長を見据えて、2学年単位で構成しており、学習年齢に応じたキャラクターたちが織り成す世界に共感できるよう工夫しています。

4. All-in-One (使いやすさの工夫)

小学校での英語学習のために最適化されたプログラムです。

6カ年の学びを体系化したことにより、モジュールという限られた時間の中で活動に適したオールインワンDVD化を実現しました。これにより、複数の教材を出し入れするなどの活動中のタイムロス、ストレスを最小化することができます。

また、教員（学級担任）によるモジュール活動をサポートするため、ガイドライン、モジュールシナリオ案（6カ年計627回分）、ワークシート（様々な活動の補助教材）、ラウンドクイズ（学習の振り返り）等もパッケージにしています。

5. Mapping the future (未来を見据えて)

子どもたちの将来に思いを馳せ、地方公共団体が民間事業者と協働し、ネイティブスピーカーの参加、公立小学校や学識経験者の協力により、それぞれの強みを発揮し開発した、他に類のない、全く新しい英語学習プログラムです。

Grade 1

Lesson 1

1. テーマ

本プログラムでは、各 Lesson に“学びのテーマ”を設定し、複数の学習素材を活用して、多面的に学習します。

本 Lesson の“学びのテーマ”は、次の2つです。

A. 場面・状況に応じた機能

「あいさつ、感謝」

Grade 1 の STORY では、ある家族が登場します。その家族の一番小さな男の子ジムを中心とした STORY がここから始まります。

最初の STORY は、朝起きたジムとお父さんとのあいさつ、ジムとお母さんとのあいさつです。「おはよう。」「元気?」「眠たいよ。」そんな朝のよくあるやりとりです。

機嫌を尋ねられたジムの返事は「眠たいよ。」と、親子の会話としてはごく自然なフレーズを基本としています。なお、「元気です。ありがとう。」は、SONG で触れます。

B. 文字と音の関係（フォニックスのサウンドパターン）

Part 1 「b, c, d, f, g, h」

Part 2 「j, k, l, m, n, p」

ほとんどの児童が、学びとして英語に触れるのは初めてでしょう。本プログラムでは、一つの象徴的な学びとして、アルファベットの文字が持つ“音”というものを知り、Jingle などの明示的かつ直接的なパターン認識と、このサウンドパターンを意図的に組み込んだ STORY、SONG の素材を活用し、ラウンドを通じて自然に段階的に学びを高めていきます。

学ぶ文字の順序については、絶対的メソッドがあるのではなく、状況・目的・対象等に応じて、望ましいと考えられる形で進められています。本プログラムでは、「a, e, i, o, u」は、後に（Grade 1 の Lesson 3 と Grade 2 の Lesson 1・2 で）丁寧に学びますので、これらをスキップしながら、Part ごとに6文字、各モジュールで2文字ずつ学びます。

なお、文字の音、例えば、b の音については /b/ と表記します。

2. STORY & ACTION

• STORY

日常的な場面でのやりとりの中に、状況に応じた機能を盛り込んだ約1分間のアニメーション（動画）を何度も視聴し、画面情報から場面を感じ取り、その場にふさわしい表現の機能に気付くことで、コミュニケーションツールとしての英語の習得につなげていきます。

登場するキャラクターは、小学1年生のジムを中心に展開します。

• ACTION

動詞を中心とした指示語を含むフレーズ。繰り返しアニメーション（動画）を見て、児童がその動作をすることで、英語を英語のまま感じる姿勢・態度を養っていきます。



Story No.1 Good Morning!

ある朝、目覚まし時計の大きな音で目覚めたジム。起き上がったジムは、まず、お父さんにあいさつ。お父さんはジムを見てびっくり。次に、お母さんにあいさつ。お母さんもジムを見てびっくり。ふたりに「髪の毛を見てごらん。」と言われたジムは…（→15頁）

ここでは、朝のあいさつ（①）と様子・状態（機嫌）（②）の表現に触れます。

- ① **Hi, Dad / Mom. Good morning, Jim.**
- ② **How are you? I'm sleepy.**

家族という親しい間柄での朝のあいさつがテーマですので、①では、ジムは“hi”や“Dad”、“Mom”を使っています。また、②でも、同様の趣旨から、既述のとおり、“I'm sleepy.”を使っています。



Action No.1 Brush your hair.

Wash your face.

ACTION は、動作を伴う英語表現を、実際にその動作を行うことと関連づけることにより、英語を英語のまま受け入れる素地づくりにつながるものです。英語をコミュニケーションツールとして無意識に認識することが期待されます。

そこで、まずは身近に感じられる、日常的な朝の動作を題材としています。

“Brush your hair.” は後々 hair を teeth に、といった応用ができます。“Wash your face.” は身体の部位はもちろん、様々なものへの応用が可能です。なお、Lesson 2 の Story No.3 A Hot Day において、wash を使った ACTION に触れます。



Story No.2 Happy Birthday!

今日はジムの誕生日。お父さん、お母さん、お姉ちゃんのサリー、それに近所のお友達のトムとその妹のパムが集まってパーティーです。「お誕生日おめでとう！」クラッカーが鳴り響きます。ジムはみんなに「ありがとう。」とお礼をいいます。ケーキのロウソクの火を吹き消し、ケーキを食べて、さあ、プレゼントの時間です。トムから大きな箱のプレゼント。開けてみると… (→ 16 頁)

ここでは、お礼・感謝についての表現に触れます。

- ① **Happy birthday, Jim. Thank you.**
- ② **Thank you for the nice present, Tom.**
You're welcome.



Action No.2 Blow out the candles.

Open your present.

誕生日でよくある動作です。open は、今後様々に応用できます。

3. SONG

歌を用いて、同じフレーズの繰り返し、韻を踏むなどの活動を通じて、文字と音の関係に気付いていきます。また、テーマに応じた歌も存在します。何度も聞いたり、歌ったりすることで、リズムに合わせて、文字と音、単語を自然に関連付けていきます。



Song No.1 Hello, How Are You?

本 Lesson での学びのテーマの一つである、あいさつの歌。ここで、基本的なやりとりとして、“How are you?”、“I’m fine, thank you.” に触れます。

また、初対面のあいさつの場面でよくある、「名前を尋ねる・答える」のやりとりにも触れます。(→ 17 頁)



Song No.2 Colors I Like

身近な「色」の歌。日本語としても浸透しているものであり、児童も構えることなく英語に触れることができるものです。また、色を表すことばの初頭音を繰り返すフレーズが盛り込まれており、文字と音の関係の意識づけにもなります。

使われている色は、red, pink, yellow, green, blue, purple で児童にもなじみやすいものです。このうち、pink と purple の /p/ は本 Lesson で個別に触れますが、それ以外のものは後になります。/r/ と /y/ は、次の Lesson 2 で個別に触れますが、既に Jingle で何度も触れている音です。ちなみに、/bl/ と /gr/ は、Grade 4 で個別に触れます。(→ 18 頁)

4. ALPHABET & PHONICS

• ALPHABET

まだ平仮名の学習も途上の児童が大半を占める状況で、アルファベットも同時に学ぶにあたり、いうまでもなく平仮名に比べると、アルファベットのインプットは圧倒的に不足していることから、複数の学習素材を用いて、少しずつ趣向を変えながら、できるかぎり多くアルファベットに触れる機会を提供します。

また、Grade 1 では、動画を見ながら、指でアルファベットを、空中や机の上でなぞり書きをします。繰り返し書いて覚えるというものではなく、アルファベットの形状、バランスや書き順を身体で感じる事が主眼の活動となります。



The Alphabet A to Z

軽快なリズムに乗って、一覧表のアルファベットを A から Z の順に歌う歌。「A a」のように、大文字と小文字が隣り合わせで表示されています。



The Alphabet Z to A

前半は The Alphabet A to Z の早口版で、後半は一覧表のアルファベットを Z から A の順（逆順）に歌う歌。



ABC Song

前半は、フラッシュカードのように、アルファベットが A から Z の順に一文字ずつ登場し、後半は、一覧表の小文字にフォーカスする歌。



Trace & Write

Lesson 1 では、アルファベットの大文字に触れます。各モジュールで、4文字から5文字、1ラウンドで一通り触れます。

動画の書き順は、文部科学省が推奨するものに準じています。しかし、実際には、書く際にアルファベットの書き順が問われることはまずありません。よって、「書き順を正す」ことは必要ありません。

また、文字の位置や大きさが視覚的に捉えられるよう、動画では、4線の上にアルファベットが書かれます。これも現段階では目安と捉え、厳格に考えすぎないようにしてください。

• PHONICS

アルファベットに触れるタイミングに合わせて、文字の名前だけでなく、文字の音にもしっかり触れます。アルファベットの文字と音の関連性を同時にインプットしていくことがポイントです。

そのためには、学習素材をしっかり見て、聞くことが第一です。一つひとつを記憶しようとするのではなく、たくさん見て、聞くことで、無理せず自然と慣れ親しんでいきます。



Jingle

アルファベットの文字の名前、音、そしてその文字を（基本、初頭音として）使ったキーワードで構成されます。学習初期の段階は、高い頻度で繰り返し、着実なインプットへとつなげます。なお、キーワードは、ボキャブラリービルディングの効果も期待するものですので、児童に身近なものから選択しています。また、yes と no、sun と moon、hand と leg など、関連語を多く取り入れ、より高い定着につなげていきます。



Letters & Sounds

本 Lesson のテーマとなっている Phonics の文字の音（読み）に慣れ親しむ活動です。お手本として、大人（女性）による発声に加え、児童たちと年齢が近い少年による発声の動画も収録しています。

5. ROUND QUIZ

各 Lesson においていろいろな学習素材の中で触れた文字と音の関係について、その認識度を5回にわたって段階的にシンプルなクイズで確認します。

ラウンドクイズは、いうまでもなく、結果を点数化することを意図していません。ましてや、クイズの出来具合で評価するなどありえません。

このねらいをまとめると、概ね次の表のとおりとなります。

児 童	担当教員
(1) 自己認識 ・自分ができるようになったことを認識する。 ・自分がだんだん分かってきていることを実感する。 (2) 自己分析 ・自分ができる(できた)こと、できない(できなかった)ことを知り、次の学びにつなげていく。 (3) 反復 ・学んだことを思い起こす。 ・学んだことを再認識する。 (4) 段階 ・学びの区切りを意識し、学びの歩みを感じる。	・児童の学びの状況を個別に把握することができる。 ・これにより、「ほめる」「はげます」「道を示す」など、児童の状況・状態に応じた適切な対応が可能となる。 ・児童の状況を踏まえたモジュールシナリオ案の軌道修正が可能となる。 (本プログラムが提示するモジュールシナリオ案は、すべての学校、学級、児童及び教員に共通であるので、実態に即して臨機応変に対応することが当然想定されている。)

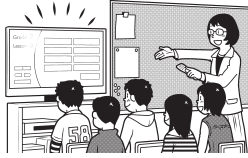
アルファベットの文字とその基本の音について、クイズ形式で、学びの点検と理解の再確認をします。



Round 1 と 2 は、読まれる言葉を表すイラスト付きで4問出題します。答えは二者択一です。聞こえた言葉のはじめの音、つまり単語の初頭音(例: cat の場合 /c/)を表す文字(例の場合: C c)を選ぶものです。

Round 3 と 4 は、読まれる言葉を表すイラスト付きで5問出題します。答えは、イラストと文字のマッチング形式です。例えば、読まれる言葉が golf の場合、それを表すイラストと、それを表す単語の初頭音(例の場合: /g/)を表す文字(例の場合: G g)とを線で結ぶものです。

最後の Round 5 は、形式は Round 3/4 と同じですが、選択する文字の方がイラストより一つ多くなっています。



ラウンドクイズをはじめる前に

Grade 1 は、アルファベットの文字と音の関連付けのため、ジングルで、文字と音に加え、その文字と音を初頭音にもつキーワードとそのイラストを触媒として活用しています。

どの要素をどのように結びつけるかは一様ではありません。中には、イラストと文字を見て（つまり音源を聞かずに）答える児童もいるでしょう。そのような場合は、既に出来ているイラストと文字の関連付けの輪に「音」を意識的に加えることができるよう、「この文字どんな音だっけ？」といったような問いかけをしてみましょう。

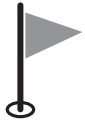
もっと直接的に「音」への集中を高めるには、クイズのイラストを取り除く方法もあります。イラスト部分を紙で覆うなどしてコピーしたものを児童に配付し、チャレンジするということも可能です。（この場合、クイズの音源の DVD はイラストが入ったまま再生されますので、教員がモニターを何かで覆うか、モニターが児童の目に入らないよう席の向きを変えるなどちょっとした工夫が必要になります。）

ただし、少なくとも Lesson 1 の 5 回のクイズをそのまま実施してみて、その時の児童の様子を観察した上で取り組むことをお勧めします。

クイズができている（できた）という結果は素晴らしいものです。児童のがんばりを上手にほめましょう。

また、今、この時点で、何ができていない（できなかった）のかがわかったことも、これから学びを続けていく上で、同じくとても有意義なことです。わかったつもりのまま先に進むと、いずれどこかで壁に当たるものです。そのときになってから原因を突き詰め、修正するのは至難の業です。

クイズも参考に、児童の学びの方向をガイドしてください。



学びの目標・ねらい

Listening

- あらゆる学習素材を、興味をもって、楽しみながら聞く。
- STORY は、いつ、どこで、だれが、なにをしているのか、をつかむ。
- 繰り返されるクラスルームイングリッシュの内容をつかむ。
- Phonics Alphabet Jingle で触れる文字と音が概ね結びつき、聞いた単語の初頭音を書かれているものの中から選ぶことができるようになる。(Phonics)

Speaking

- 間違いを怖がらず、自分のペース、タイミングで、声を出そうとする。
- Phonics Alphabet Jingle は、リズムに合わせて、声を出す。(Phonics)



Story No.1

Good Morning!

▶…DVDのリモコンのスキップ操作で▶の位置に早送りができます。
①, ②…場面・状況に応じた機能のフレーズです。

- Narrator This is Jim.
- Jim ▶ Hi, Dad.
①
- Dad Good morning, Jim.
①
▶ How are you? Wow!
②
- Jim I'm sleepy ...
②
- Dad Are you alright? Look at your hair.
- Jim ▶ Hi, Mom.
①
- Mom Good morning, Jim.
①
▶ How are you? Wow!
②
- Jim I'm sleepy ...
②
- Mom Are you alright? Look at your hair!
- Narrator Jim goes to the bathroom.
- Jim Wow! Cool! I'm a lion.
- Mom Jim! Brush your hair and wash your face!
- Jim I brush my hair. I wash my face.
Now I'm ready!

Phonics Words

※初頭音のみ

b bathroom / brush

c cool

d dad

f face

g good / go(es)

h hi / how / hair

j Jim

k

l look / lion

m morning / mom / my

n now

p



Story No.2

Happy Birthday!

▶…DVDのリモコンのスキップ操作で▶の位置に早送りができます。
①, ②…場面・状況に応じた機能のフレーズです。

- Narrator It's Jim's birthday.
- All ▶ Happy birthday, Jim!
①
- Jim Thank you!
①
- Mom Blow out the candles, Jim.
- Jim Okay.
- Dad Who wants a piece of cake?
- Jim, Sally, Tom, Pam Me! Me! Me! Me!
- Dad Okay. Please wait.
- Narrator It's time for presents.
- Tom Happy birthday, Jim!
- Jim Thank you!
- Pam Open your present.
- Jim Sure. Wow! I love it!
- ▶ Thank you for the nice present, Tom!
②
- Tom You're welcome.
②

Phonics Words

※初頭音のみ

b birthday / blow
c candle(s) / cake
d
f for
g
h happy

j Jim
k
l love
m me
n nice
p piece / please / present(s)



Song No.1

Hello, How Are You?

- 1 Hello, hello, hello
How are you?
I'm fine, I'm fine
I'm fine, thank you

- 2 Hello, hello, hello
What's your name?
Ayumi, Ayumi
My name is Ayumi

Phonics Words

※初頭音のみ

b

c

d

f fine

g

h hello / how

j

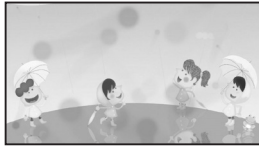
k

l

m my

n name

p



Song No.2

Colors I Like

- | | |
|---|---|
| 1 Red, red, I like red
Red is for apples
Red, red, r-r-red
I like red. How about you? | 2 Pink, pink, I like pink
Pink is for peaches
Pink, pink, p-p-pink
I like pink. How about you? |
| 3 Yellow, yellow, I like yellow
Yellow is for bananas
Yellow, yellow, y-y-yellow
I like yellow. How about you? | 4 Green, green, I like green
Green is for melons
Green, green, gr-gr-green
I like green. How about you? |
| 5 Blue, blue, I like blue
Blue is for the blue sky
Blue, blue, bl-bl-blue
I like blue. How about you? | 6 Purple, purple, I like purple
Purple is for grape juice
Purple, purple, p-p-purple
I like purple. How about you? |

Phonics Words

※初頭音のみ

b banana(s) / blue
c color(s)
d
f for
g green / grape
h how

j juice
k
l like
m melon(s)
n
p pink / peach(es) / purple

Grade 1

Lesson 2

1. テーマ

本プログラムでは、各 Lesson に“学びのテーマ”を設定し、複数の学習素材を活用して、多面的に学習します。

本 Lesson の“学びのテーマ”は、次の2つです。

A. 場面・状況に応じた機能

「あいさつ・紹介（家族・自分）」

子どもたちが成長をするにつれ、新たな人との出会いは増えていきます。そうすると、初対面のあいさつが必ず必要となるコミュニケーションの場面に遭遇します。儀礼的な表現ではありますが、コミュニケーションの基本です。ここでは、Story No.3 で、ジムの友人のマットが、ジムのお父さんと初めて顔を合わせます。

また、自分のことを相手に知ってもらうため、自己紹介をする機会もこれから訪れるでしょう。Story No.4 では、小学1年生のジムのクラスにやってきたゲストが自己紹介します。Grade 1 の学習年齢を考慮した、名前、年齢、家族、趣味などをシンプルに伝える表現に触れます。

なお、自己紹介は、Grade 5 で再度触れます。自分の夢や将来やってみたいこと、自分の好きなもの／こととその理由などを伝える表現が加わります。さらには、Grade 6 の WRITING ACTIVITY でも扱います。

B. 文字と音の関係（フォニックスのサウンドパターン）

Part 1 「m, n, p, q, r, s」

Part 2 「t, v, w, x, y, z」

Lesson 1 に続き、アルファベットの「a, e, i, o, u」をスキップしながら、残りの文字とその“音”の関係に触れます。文字が持つ基本の音を、Jingle や STORY、SONG の素材の中で使用されている単語（の初頭音）に繰り返し何度も触れながら、認識を高めていきます。

なお、文字の音、例えば、r の音については /r/ と表記します。

2. STORY & ACTION

• STORY

日常的な場面でのやりとりの中に、状況に応じた機能を盛り込んだ約1分間のアニメーション（動画）を何度も視聴し、画面情報から場面を感じ取り、その場にふさわしい表現の機能に気付くことで、コミュニケーションツールとしての英語の習得につなげていきます。

登場するキャラクターは、小学1年生のジムを中心に展開します。

• ACTION

動詞を中心とした指示語を含むフレーズ。繰り返しアニメーション（動画）を見て、児童がその動作をすることで、英語を英語のままを感じる姿勢・態度を養っていきます。



Story No.3 A Hot Day

ジムが家に帰ってきました。友達のマットと一緒に。お父さんがお出迎え。マットとは初対面なので、ジムはマットに「僕のお父さんだよ。」と紹介。マットは礼儀正しく「こんにちは、ジョンソンさん。はじめまして。」とあいさつ。お父さんも「こんにちは、マットくん。はじめまして。」と応じます。

暑い中走って帰ってきた2人を見て、お母さんがお水とジュースを用意してくれますが、ジムとマットは…（→28頁）

ここでは、初対面のあいさつで、家族の紹介（①）と相手へのあいさつ（②）の表現に触れます。

- ① **Matt, this is my dad.**
- ② **Hello, Mr. Johnson. Nice to meet you.**
Hi, Matt. Nice to meet you too.

“Nice to meet you.”の最後の2語（meet you）は、コミュニケーションの場面では一気に発音されます。こうした自然な英語表現に触れるのがSTORYです。



Action No.3 Wash your hands.

Give me some ice cubes, please.

ACTION は、動作を伴う英語表現を、実際にその動作を行うことと関連づけることにより、英語を英語のまま受け入れる素地づくりにつながるものです。英語をコミュニケーションツールとして無意識に認識することが期待されます。

そこで、まずは身近に感じられる、日常的な動作を題材としています。

“Wash your hands.” は、Story No.1 Good Morning! で触れた wash を使った表現です。“Give me some ice cubes, please.” は、少し長めのセンテンスなので、難しいと感じるかもしれません。「氷ちょうだい。」と言って、氷を受け取り、その氷を頬張るという文脈をつかみつつ、実際のアクションでは、Jingle などこれまで触れた単語を使ってみることも可能です。



Story No.4 Origami

ジムの学校でのちょっとしたサプライズ。先生は、大きな女の子をクラスに招き入れます。みんなと初対面の女の子は、自己紹介を始めます。名前、出身、年齢、兄弟姉妹、好きなもの。彼女が好きな折り紙をしようということになり、女の子がお手本とばかりに、折り紙を始めます。紙を折って、折って、折って…、最後に、ひっくり返すと… (→ 29 頁)

ここでは、自己紹介 (①：名前、出身、②：家族関係) についての表現に触れます。

- ① **My name's Mina. I'm from Japan.**
- ② **I have a brother and a sister.**



Action No.4 Fold the paper.

Turn the paper.

折り紙をしながら、体感できる動作です。turn は、今後様々な応用できます。

3. SONG

歌を用いて、同じフレーズの繰り返し、韻を踏むなどの活動を通じて、文字と音の関係に気付いていきます。また、テーマに応じた歌も存在します。何度も聞いたり、歌ったりすることで、リズムに合わせて、文字と音、単語を自然に関連付けていきます。



Song No.3 Mother Gooney Bird

“Mother Gooney Bird had seven chicks” というフレーズは家族構成を紹介しているとも言えますが、ここでは、繰り返し登場するフレーズに触れ、文字と音の関係への気付きを深めていきます。

また、左と右、それと身体の部分がいくつか登場します。画面の動きに合わせて、さながら ACTION のように、児童と一緒に体を動かすのもよいでしょう。(→ 30 頁)



Song No.4 Jelly in a Bowl

擬声語に触れる歌。リズムに乗せて、文字と音の関係への気付きを深めていきます。
(→ 32 頁)

4. ALPHABET & PHONICS

• ALPHABET

まだ平仮名の学習も途上の児童が大半を占める状況で、アルファベットも同時に学ぶにあたり、いうまでもなく平仮名に比べると、アルファベットのインプットは圧倒的に不足していることから、複数の学習素材を用いて、少しずつ趣向を変えながら、できるかぎり多くアルファベットに触れる機会を提供します。

また、Grade 1 では、動画を見ながら、指でアルファベットを、空中や机の上でなぞり書きをします。繰り返し書いて覚えるというものではなく、アルファベットの形状、バランスや書き順を身体で感じることを主眼の活動となります。



The Small Letter Song

“a” → short / “b” → tall / “j” → tail と形状により3つに区分し、その形状を表現する人の動きの映像と合わせて、アルファベットの小文字を感じる歌。Lesson 2 の Trace & Write でアルファベットの小文字に触れることとの連動を意図したもの。



ABC Song

前半は、フラッシュカードのように、アルファベットが A から Z の順に一文字ずつ登場し、後半は、一覧表の小文字にフォーカスする歌。



The Alphabet A to Z

軽快なリズムに乗って、一覧表のアルファベットを A から Z の順に歌う歌。「A a」のように、大文字と小文字が隣り合わせで表示されています。



The Alphabet Z to A

前半は The Alphabet A to Z の早口版で、後半は一覧表のアルファベットを Z から A の順（逆順）に歌う歌。



Trace & Write

Lesson 2 では、アルファベットの小文字に触れます。各モジュールで、4文字から5文字、1ラウンドで一通り触れます。

書き順は、文部科学省が推奨するものに準じていますが、実際には、アルファベットの書き順が問われることはまずありません。

また、文字の位置や大きさが視覚的に捉えられるよう、動画では、4線の上にアルファベットが書かれます。これも目安で、厳格に考えすぎないようにしてください。

今後の学びにおいては、触れるアルファベットは圧倒的に小文字が多くなります。まずは、認識力を育むことが大切です。書く力は焦る必要はありません。

• PHONICS

アルファベットに触れるタイミングに合わせて、文字の名前だけでなく、文字の音にもしっかり触れます。アルファベットの文字と音の関連性を同時にインプットしていくことがポイントです。

そのためには、学習素材をしっかり見て、聞くことが第一です。一つひとつを記憶しようとするのではなく、たくさん見て、聞くことで、無理せず自然と慣れ親しんでいきます。



Jingle

アルファベットの文字の名前、音、そしてその文字を（基本、初頭音として）使ったキーワードで構成されます。学習初期の段階は、高い頻度で繰り返し、着実なインプットへとつなげます。なお、キーワードは、ボキャブラリービルディングの効果も期待するもので、児童に身近なものから選択しています。また、yes と no、sun と moon、hand と leg など、関連語を多く取り入れ、より高い定着につなげていきます。



Letters & Sounds

本 Lesson のテーマとなっている Phonics の文字の音（読み）に慣れ親しむ活動です。お手本として、大人（女性）による発声に加え、児童たちと年齢に近い少年による発声の動画も収録しています。

5. ROUND QUIZ

各 Lesson においていろいろな学習素材の中で触れた文字と音の関係について、その認識度を5回にわたって段階的にシンプルなクイズで確認します。

このねらいをまとめると、概ね次の表のとおりとなります。

児 童	担当教員
(1) 自己認識 ・自分ができるようになったことを認識する。 ・自分がだんだん分かってきていることを実感する。 (2) 自己分析 ・自分ができる（できた）こと、できない（できなかった）ことを知り、次の学びにつなげていく。 (3) 反復 ・学んだことを思い起こす。 ・学んだことを再認識する。 (4) 段階 ・学びの区切りを意識し、学びの歩みを感じる。	・児童の学びの状況を個別に把握することができる。 ・これにより、「ほめる」「はげます」「道を示す」など、児童の状況・状態に応じた適切な対応が可能となる。 ・児童の状況を踏まえたモジュールシナリオ案の軌道修正が可能となる。 （本プログラムが提示するモジュールシナリオ案は、すべての学校、学級、児童及び教員に共通であるので、実態に即して臨機応変に対応することが当然想定されている。）

アルファベットの文字とその基本の音について、クイズ形式で、学びの点検と理解の再確認をします。



Round 1 と 2 は、読まれる言葉を表すイラスト付きで4問出題します。答えは二者択一です。聞こえた言葉のはじめの音、つまり単語の初頭音（例：cat の場合 /c/）を表す文字（例の場合：C c）を選ぶものです。

Round 3 と 4 は、読まれる言葉を表すイラスト付きで5問出題します。答えは、イラストと文字のマッチング形式です。例えば、読まれる言葉が golf の場合、それを表すイラストと、それを表す単語の初頭音（例の場合：/g/）を表す文字（例の場合：G g）とを線で結ぶものです。

最後の Round 5 は、Round 3/4 と同じ形式で6問出題しますが、選択する文字の方がイラストより一つ多くなっています。



学びの目標・ねらい

Listening

- あらゆる学習素材を、興味をもって、楽しみながら聞く。
- STORY は、いつ、どこで、だれが、なにをしているのか、をつかむ。
- 繰り返されるクラスルームイングリッシュの内容をつかむ。
- Phonics Alphabet Jingle で触れる文字と音が概ね結びつき、聞いた単語の初頭音を書かれているものの中から選ぶことができるようになる。(Phonics)

Speaking

- 積極的にあいさつしたり、歌を歌ったりする。
- 間違いを怖がらず、自分のペース、タイミングで、声を出そうとする。
- Phonics Alphabet Jingle の音(声)出しが、徐々に洗練されてきている。(Phonics)

Alphabet

- アルファベットを見て、大文字か小文字かの判別ができるようになる。
- アルファベットの順序がわかる。



Story No.3

A Hot Day

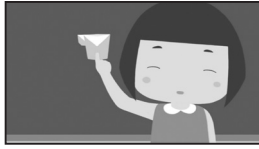
▶…DVDのリモコンのスキップ操作で▶の位置に早送りができます。
①, ②…場面・状況に応じた機能のフレーズです。

- Narrator Jim and his friend Matt arrive at Jim's house.
- Jim Hello! I'm home! It's hot!
- Matt It's really hot!
- Jim ▶ Matt, this is my dad.
①
- Matt ▶ Hello, Mr. Johnson. Nice to meet you.
②
- Jim's dad Hi, Matt. Nice to meet you too.
②
- Jim's mom You boys look so hot! I'll get you some cold drinks.
- Jim Thanks, Mom.
- Matt Thanks, Mrs. Johnson.
- Mom Wash your hands, boys.
- Jim and Matt Okay. Okay.
- Mom Here, I have some orange juice and water.
- Dad And some ice cubes too.
- Jim Give me some ice cubes, please!
- Matt I want some ice cubes too, please.
- Mom and Dad You boys are just like polar bears!

Phonics Words

※初頭音のみ

m	<u>M</u> att / <u>m</u> y / <u>M</u> r. / <u>m</u> ee <u>t</u> / <u>M</u> om / <u>M</u> rs. / <u>m</u> e	t	<u>t</u> oo
n	<u>n</u> ice	v	
p	<u>p</u> lease / <u>p</u> olar	w	<u>w</u> ash / <u>w</u> ater / <u>w</u> ant
q		x	
r	<u>r</u> eally	y	<u>y</u> ou / <u>y</u> our
s	<u>s</u> o / <u>s</u> ome	z	



Story No.4

Origami

▶…DVDのリモコンのスキップ操作で▶の位置に早送りができます。
①, ②…場面・状況に応じた機能のフレーズです。

- Narrator Jim's class has a surprise today.
- Ms. Alice Keen (Teacher) Today we have a visitor in our class.
Mina, please introduce yourself.
- Mina ▶ Hello! My name's Mina. I'm from Japan.
①
I'm twelve years old.
- ▶ I have a brother and a sister.
②
I like origami.
I like dogs too.
- Ms. Alice Keen That's great. Let's make some origami with Mina.
- Jim That's a good idea!
- Mina Okay! Let me show you.
Fold the paper like this.
Fold it ... fold it.
Turn the paper.
Ta-dah! This is a cup!
- All Wow! Great!

Phonics Words

※初頭音のみ

m Mina / my / make / me

n name

p please / paper

q

r

s surprise / sister / some

t today / twelve / too / turn / ta-dah

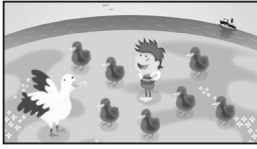
v visitor

w we / with / wow

x

y yourself / year(s) / you

z



Song No.3

Mother Gooney Bird

- 1 Mother Gooney Bird had seven chicks.
One, two, three, four, five, six, seven!
They couldn't talk. They couldn't walk
They could only go like this
right wing (*right wing*)

- 2 Mother Gooney Bird had seven chicks.
One, two, three, four, five, six, seven!
They couldn't talk. They couldn't walk
They could only go like this
right wing, (*right wing*)
left wing (*left wing*)

- 3 Mother Gooney Bird had seven chicks.
One, two, three, four, five, six, seven!
They couldn't talk. They couldn't walk
They could only go like this
right wing, (*right wing*)
left wing, (*left wing*)
right leg (*right leg*)

- 4 Mother Gooney Bird had seven chicks.
One, two, three, four, five, six, seven!
They couldn't talk. They couldn't walk
They could only go like this
right wing, (*right wing*)
left wing, (*left wing*)
right leg, (*right leg*)
left leg (*left leg*)

- 5 Mother Gooney Bird had seven chicks.
One, two, three, four, five, six, seven!
They couldn't talk. They couldn't walk
They could only go like this
right wing, (*right wing*)
left wing, (*left wing*)
right leg, (*right leg*)
left leg, (*left leg*)
chin up (*chin up*)
- 6 Mother Gooney Bird had seven chicks.
One, two, three, four, five, six, seven!
They couldn't talk. They couldn't walk
They could only go like this
right wing, (*right wing*)
left wing, (*left wing*)
right leg, (*right leg*)
left leg, (*left leg*)
chin up, (*chin up*)
turn around (*turn around*)
Sit down!

Phonics Words

※初頭音のみ

m mother

n

p

q

r right

s seven / six / sit

t two / talk / turn

v

w walk / wing

x

y

z



Song No.4

Jelly in a Bowl

- 1 Jelly in a bowl, Jelly in a bowl
Wiggy waggy wiggy waggy
Jelly in a bowl
- 2 Popcorn in a pan, Popcorn in a pan
Poppie, pop pop, Poppie, pop pop
Popcorn in a pan
- 3 Soda in a can, Soda in a can
Fizzy wizzy fizzy wizzy
Soda in a can

Phonics Words

※初頭音のみ

m

t

n

v

p popcorn / pan / poppie / pop

w wiggy / waggy / wizzy

q

x

r

y

s soda

z

Grade 1

Lesson 3

1. テーマ

本プログラムでは、各 Lesson に“学びのテーマ”を設定し、複数の学習素材を活用して、多面的に学習します。

本 Lesson の“学びのテーマ”は、次の2つです。

A. 場面・状況に応じた機能

「感情・状態」

今、自分がどのように感じているか、どのような状態にあるかなど、感情や状態を伝えるのは、コミュニケーションの基本動作です。「うれしい」「たのしい」「わくわくしている」「悲しい」「怒っている」「お腹がすいた」「のどが渴いた」「眠たい」「退屈だ」などなど、枚挙にいとまがありません。

ここでは、Story No.5 で、ジムが感じていることを素直に表現します。児童も常日頃から日本語で何度も使っている表現です。

また、Story No.6 では、ジムと友達のマットが、自分ではない他者、ここでは動物園にいる動物の様子を観察して、どのような状態かを表現します。

感情・状態の表現は、コミュニケーションの核の一つですから、今後、様々な場面で触れることとなります。例えば、Grade 2 の Story No.12 や Grade 3 の Story No.17 で、幾つかの表現が登場します。

B. 文字と音の関係（フォニックスのサウンドパターン）

「a, e, i, o, u」

ここで、Lesson 1 及び 2 でスキップした、アルファベットの「a, e, i, o, u」の文字と“音”の関係に触れます。実際は、これらの文字は複数の音を持っているのですが、本プログラムでは“基本の音”と呼ぶ音との関連付けを行います。これで、アルファベットの文字と基本の音について、一通り触れることとなります。これにより、いくつかの単語を“音声化”、つまり読むことができるようになります。Phonics では、複数の趣向の異なる学習素材を活用して、その認識を高めていきます。

なお、文字の音、例えば、a の音については /a/ と表記します。

2. STORY & ACTION

• STORY

日常的な場面でのやりとりの中に、状況に応じた機能を盛り込んだ約1分間のアニメーション（動画）を何度も視聴し、画面情報から場面を感じ取り、その場にふさわしい表現の機能に気付くことで、コミュニケーションツールとしての英語の習得につなげていきます。

登場するキャラクターは、小学1年生のジムを中心に展開します。

• ACTION

動詞を中心とした指示語を含むフレーズ。繰り返しアニメーション（動画）を見て、児童がその動作をすることで、英語を英語のままを感じる姿勢・態度を養っていきます。



Story No.5 Jim Goes Fishing

ジムはお父さんと釣りに来ています。ジムは楽しみで、少し興奮しているようです。ところが、釣りを始めてみると、すぐには釣れないようで、ジムの関心は他のところに移っていきます。「のどが渇いた。」「お腹がすいた。」時間だけが流れます。それでもなかなか釣れません。すると突然、ジムの浮きが海に引き込まれます。「魚だ！魚だ！」ジムは頑張って釣りあげました。が、それは…（→42頁）

ここでは、自分の身体の状態（①：渇き、②：空腹）についての表現に触れます。

- ① I'm thirsty.
- ② I'm hungry.



Action No.5 Drink some water.

Eat an apple.

上記の機能（表現）と対になるもの。様々な飲み物、食べ物に応用できます。



Story No.6 At the Zoo

ジムはクラスで動物園に来ています。仲良しのマットと一緒にいろいろな動物を見に行きます。

ゾウです。水遊びをしています。「楽しそう。」

キリンです。見上げると、木の葉を食べています。「お腹がすいているんだ。」

ヘビです。下の方を見てみると、茂みに隠れています。「眠たいんだ。」

サルです。赤ちゃんのサルがいます。「かわいいね。」

ジムが赤ちゃんのサルに声をかけると、サルたちが集まってきます。ジムとマットは調子によって、サルの真似をします。すると… (→ 43 頁)

ここでは、状態や様子を表す表現に触れます。

- ① **The elephant is happy.**
The giraffe is hungry.
The snake is sleepy.
That baby monkey is cute.
- ② **Those monkeys are angry.**



Action No.6 Look up.

Look down.

look を使った表現はこれまでも触れています。ここではこれに “up” と “down” を用いて、look という動作をどのようにするのかを示しています。

3. SONG

歌を用いて、同じフレーズの繰り返し、韻を踏むなどの活動を通じて、文字と音の関係に気付いていきます。また、テーマに応じた歌も存在します。何度も聞いたり、歌ったりすることで、リズムに合わせて、文字と音、単語を自然に関連付けていきます。



Song No.5 A Hunting We Will Go

本 Lesson で触れるフォニックスのサウンドパターンである「a, e, i, o, u」を含む単語が数多く登場する歌。歌の中で“fox”と“box”、“skunk”と“trunk”が韻を踏んでいます。

(→ 44 頁)



Song No.6 Walking, Walking

本 Lesson で触れるフォニックスのサウンドパターンである「a, e, i, o, u」を含む単語が数多く登場する歌。また、動作を表す言葉がいくつか登場します。画面に合わせて、さながら ACTION のように、児童と一緒に体を動かすのもよいでしょう。(→ 45 頁)

4. ALPHABET & PHONICS

• ALPHABET

まだ平仮名の学習も途上の児童が大半を占める状況で、アルファベットも同時に学ぶにあたり、いうまでもなく平仮名に比べると、アルファベットのインプットは圧倒的に不足していることから、複数の学習素材を用いて、少しずつ趣向を変えながら、できるかぎり多くアルファベットに触れる機会を提供します。

また、Grade 1 では、動画を見ながら、指でアルファベットを、空中や机の上でなぞり書きをします。繰り返し書いて覚えるというものではなく、アルファベットの形状、バランスや書き順を身体で感じる事が主眼の活動となります。



ABC Song

前半は、フラッシュカードのように、アルファベットが A から Z の順に一文字ずつ登場し、後半は、一覧表の小文字にフォーカスする歌。



The Small Letter Song

“a” → short / “b” → tall / “j” → tail と形状により 3 つに区分し、その形状を表現する人の動きの映像と合わせて、アルファベットの小文字を感じる歌。



The Alphabet A to Z

軽快なリズムに乗って、一覧表のアルファベットを A から Z の順に歌う歌。「A a」のように、大文字と小文字が隣り合わせで表示されています。



The Alphabet Z to A

前半は The Alphabet A to Z の早口版で、後半は一覧表のアルファベットを Z から A の順（逆順）に歌う歌。



Trace & Write

Lesson 3 では、アルファベットの大きい文字と小さい文字に触れます。大きい文字と小さい文字が並んで表示されるので、大きさとバランスに意識を向けます。各モジュールで、4文字から5文字、1ラウンドで一通り触れます。

この活動のあと、Grade 2 からは、実際に鉛筆を持って、「書く」ことが始まります。だからといって、Grade 1 でアルファベットをマスターする必要はありません。学びは個人差がありますので、児童一人ひとりのペース・タイミングで取り組むことが大切です。

• PHONICS

アルファベットに触れるタイミングに合わせて、文字の名前だけでなく、文字の音にもしっかり触れます。アルファベットの文字と音の関連性を同時にインプットしていくことがポイントです。

そのためには、学習素材をしっかり見て、聞くことが第一です。一つひとつを記憶しようとするのではなく、たくさん見て、聞くことで、無理せず自然と慣れ親しんでいきます。



Jingle

アルファベットの文字の名前、音、そしてその文字を（基本、初頭音として）使ったキーワードで構成されます。学習初期の段階は、高い頻度で繰り返し、着実なインプットへとつながります。なお、キーワードは、ポキャブラリービルディングの効果も期待するものですので、児童に身近なものから選択しています。また、yes と no、sun と moon、hand と leg など、関連語を多く取り入れ、より高い定着につなげていきます。



Letters & Sounds

本 Lesson のテーマとなっている Phonics の文字の音（読み）に慣れ親しむ活動です。お手本として、大人（女性）による発声に加え、児童たちと年齢に近い少年による発声の動画も収録しています。

5. ROUND QUIZ

各 Lesson においていろいろな学習素材の中で触れた文字と音の関係について、その認識度を5回にわたって段階的にシンプルなクイズで確認します。

このねらいをまとめると、概ね次の表のとおりとなります。

児 童	担当教員
(1) 自己認識 ・自分ができるようになったことを認識する。 ・自分がだんだん分かってきていることを実感する。 (2) 自己分析 ・自分ができる（できた）こと、できない（できなかった）ことを知り、次の学びにつなげていく。 (3) 反復 ・学んだことを思い起こす。 ・学んだことを再認識する。 (4) 段階 ・学びの区切りを意識し、学びの歩みを感じる。	・児童の学びの状況を個別に把握することができる。 ・これにより、「ほめる」「はげます」「道を示す」など、児童の状況・状態に応じた適切な対応が可能となる。 ・児童の状況を踏まえたモジュールシナリオ案の軌道修正が可能となる。 （本プログラムが提示するモジュールシナリオ案は、すべての学校、学級、児童及び教員に共通であるので、実態に即して臨機応変に対応することが当然想定されている。）

アルファベットの文字とその基本の音について、クイズ形式で、学びの点検と理解の再確認をします。



Round 1 と 2 は、読まれる言葉を表すイラスト付きで4問出題します。答えは二者択一です。聞こえた言葉のはじめの音、つまり単語の初頭音（例：cat の場合 /c/）を表す文字（例の場合：C c）を選ぶものです。

Round 3 と 4 は、読まれる言葉を表すイラスト付きで5問出題します。答えは、イラストと文字のマッチング形式です。例えば、読まれる言葉が golf の場合、それを表すイラストと、それを表す単語の初頭音（例の場合：/g/）を表す文字（例の場合：G g）とを線で結ぶものです。

最後の Round 5 は、Round 3/4 と同じ形式で6問出題しますが、選択する文字の方がイラストより一つ多くなっています。

なお、Round 4 と 5 では、本 Lesson で触れるサウンドパターンに加えて、これまでの Lesson で触れた文字と音も登場しています。



学びの目標・ねらい

Listening

- あらゆる学習素材を、興味をもって、楽しみながら聞く。
- STORY は、いつ、どこで、だれが、なにをしているのか、をつかむ。
- 繰り返されるクラスルームイングリッシュの内容をつかむ。
- Phonics Alphabet Jingle で触れる文字と音が概ね結びつき、聞いた単語の初頭音を書かれているものの中から選ぶことができるようになる。(Phonics)

Speaking

- 積極的にあいさつしたり、歌を歌ったりする。また、STORY のキーフレーズや ACTION の指示語を使ってみようとする。
- 間違いを怖がらず、自分のペース、タイミングで、声を出そうとする。
- Phonics Alphabet Jingle の音(声)出しが、かなり洗練されてきている。(Phonics)

Alphabet

- アルファベットを見て、大文字か小文字かの判別ができ、また、両者をマッチングすることができるようになる。
- アルファベットの順序がわかる。



Story No.5

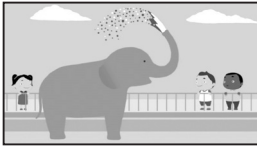
Jim Goes Fishing

▶…DVDのリモコンのスキップ操作で▶の位置に早送りができます。
①, ②…場面・状況に応じた機能のフレーズです。

- Narrator Jim is going fishing with his dad.
- Jim I'm so excited! Let's go. Let's go!
- Dad Jim! Bring the fishing rods.
- Jim Okay, Dad!
- Dad Ah! I love fishing!
- Jim ▶ Dad, I'm thirsty.
①
- Dad Drink some water. There's a water bottle in the bag.
- Jim ▶ I'm hungry.
②
- Dad Eat an apple.
- Jim A fish! A fish!
- Dad Pull it in!
- Dad What's that?
- Jim It's an octopus!

Phonics Words

- a dad / bag / apple / that
- e let
- i Jim / fish(ing) / with / his / bring / drink
- o rod(s) / bottle / octopus
- u hungry



Story No.6

At the Zoo

▶…DVDのリモコンのスキップ操作で▶の位置に早送りができます。
①, ②…場面・状況に応じた機能のフレーズです。

- Narrator Jim's class is at the zoo.
- Jim Look! That elephant is spraying water with his trunk!
- Matt ▶ The elephant is happy!
①
- Jim Look up! That giraffe is eating leaves off a tree.
- Matt ▶ The giraffe is hungry!
①
- Jim Now look down! That snake is hiding under the bush.
- Matt ▶ The snake is sleepy!
①
- Jim Look at that baby monkey!
- Ms. Alice Keen ▶ That baby monkey is cute.
①
- Jim Hello, baby monkey!
- Matt ▶ Those monkeys are angry!
②

Phonics Words

- a class / that / happy / giraffe / angry
- e elephant
- i Jim / with / his
- o
- u trunk / up / hungry / under



Song No.5

A Hunting We Will Go

- 1 Oh, a hunting we will go
A hunting we will go
We'll catch a little fox
And put him in a box
And then we'll let him go

- 2 Oh, a hunting we will go
A hunting we will go
We'll catch a little skunk
And put him in a trunk
And then we'll let him go

Phonics Words

- a catch
- e then / let
- i will / little / him
- o fox / box
- u hunt(ing) / skunk / trunk



Song No.6

Walking, Walking

- 1 Walking, walking, I am walking
Hop, hop, hop, hop, hop, hop
I am running, running
I am running, running
Now let's stop
Now let's stop
- 2 Flying, flying, I am flying
Jump, jump, jump, jump, jump, jump
I am swimming, swimming
I am swimming, swimming
Now let's stop
Now let's stop

Phonics Words

a

e let

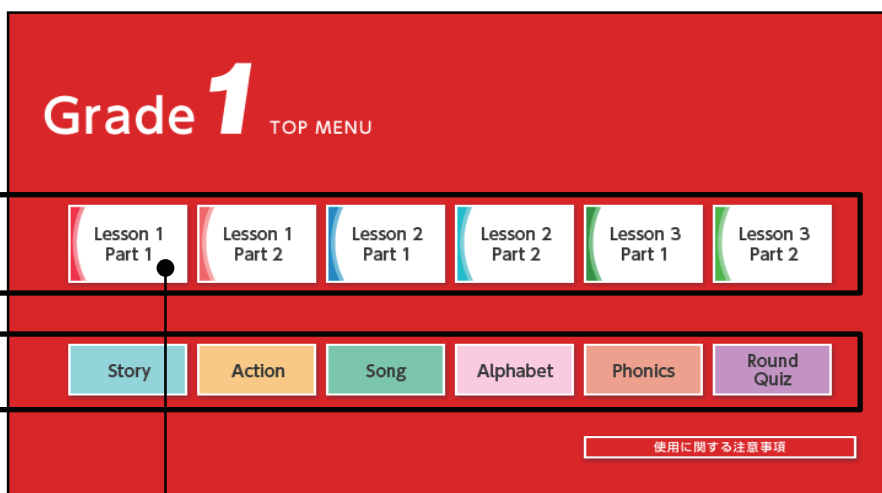
i swim(ming)

o hop / stop

u run(ning) / jump

資料編

【DVDの使い方】

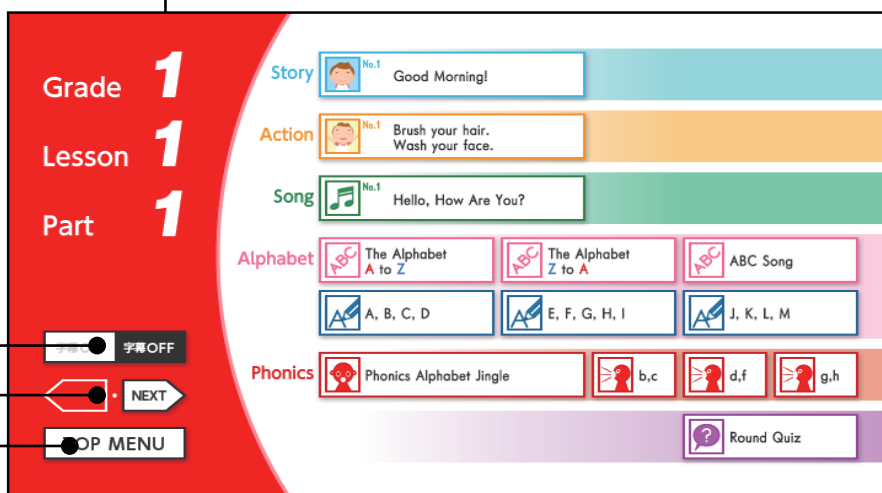


モジュール学習として
週3日1回10分～15分の
シナリオに準じた活動の場合

学校独自の活動の場合
(51ページへ⇒)

モジュール学習として
週3日1回10分～15分の
シナリオに準じた活動の場合

モジュール学習のシナリオに準じて、
学習素材がメニューに収められています。



字幕ありなしを選択します。



次のレッスンのメニュー画面に移動できます。



TOP MENUに戻ります。



操作手順例

TOP MENU

Lesson 1 Part 1

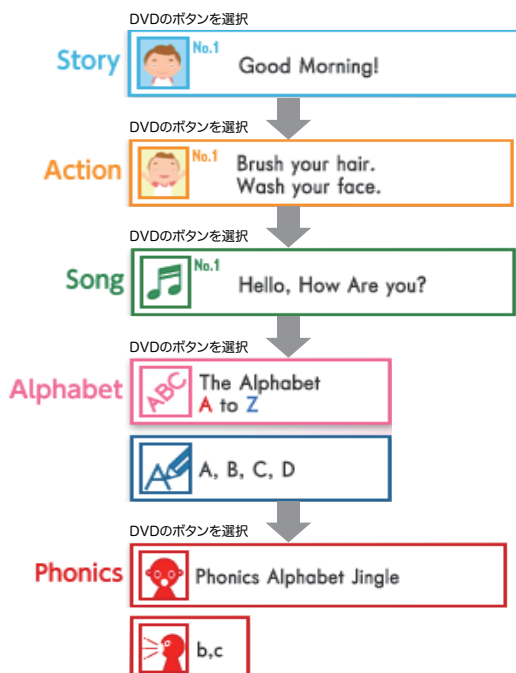
Storyを選択

Actionを選択

Songを選択

Alphabetを選択

Phonicsを選択



※ボタンを選択すると動画がスタートします。
動画が終了すると選択したボタンに戻ります。

【モジュール学習の流れ】

週3日1回10分～15分のシナリオに準じた活動の場合

Grade「グレード」……学年に対応する学習の段階。

Lesson「レッスン」……学習期間。概ね「学期」に相当。

Part「パート」……レッスンを2分割したまとまり。

Round「ラウンド」……「パート1 + パート2 + ラウンドクイズ」を一つのまとまりとし、一通り実施すること。1レッスン(1学期)5ラウンドに設定。

Module「モジュール」……10分～15分の学習の単位(最小単位)。

シナリオ例

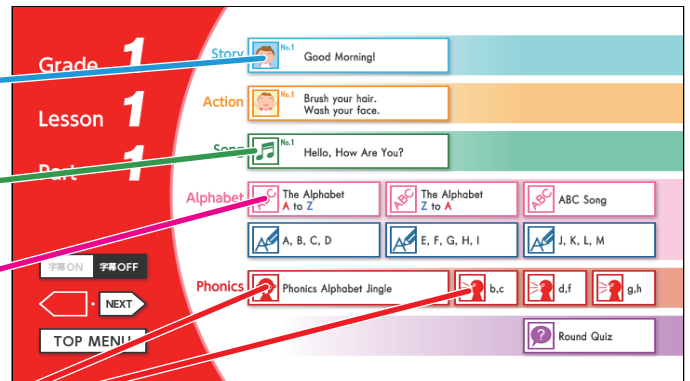
Grade	Lesson	Part	Round	Module
1	1	1	1	1

ねらい	英語をよく見て、聞いて、感じよう。			学習日	年 月 日 ()	時 分 開始
時間	教材	進行	進行のポイント			
00:00		Hello, everyone. 今日から英語の授業が始まること、みんなであそぼう、ということ伝える。 Now, let's start. Grade1のDVDを準備。メニュー画面で「Lesson1 Part1」を選択。「字幕 OFF」(初期設定)。	<input type="checkbox"/> 元気よくあいさつ。 <input type="checkbox"/> 児童からの反応がない場合は、耳に手を当てるアクションをしたりして、何回か試みる。 <input type="checkbox"/> 今日は、おしゃべりをしないで、しっかり見て聞くように伝える。			
1:00	STORY (約 1:00)	Let's watch the DVD. Story №1 "Good Morning!" を再生。 (コミュニケーション)	<input type="checkbox"/> 英語でのコミュニケーションの場面に触れる。視聴後、児童から自然なリアクションを受け止め、共有する。			
4:00	SONG (約 0:50)	Let's watch the DVD. Song №1 "Hello, How Are you?" を再生。 (コミュニケーション)	<input type="checkbox"/> 英語の音、リズムに触れる。 <input type="checkbox"/> 画面の情報からどんな歌なのかを感じる。 <input type="checkbox"/> 視聴後、児童から自然なリアクションを受け止め、共有する。			
6:00	ALPHABET (約 1:00)	Let's watch the DVD. "The Alphabet A to Z" を再生。	<input type="checkbox"/> アルファベットの文字の形、読み、順序に触れる。 <input type="checkbox"/> 画面の情報からどんな歌なのかを感じる。			
8:00	PHONICS (約 1:50)	Let's watch the DVD. "Phonics Alphabet Jingle" を再生。	<input type="checkbox"/> アルファベットの文字、読み、音、それとその文字を使ったキーワードに触れる。			
10:00	PHONICS (約 0:35)	Let's watch the DVD. "Sounds and Letters b, c" を再生。	<input type="checkbox"/> アルファベットの読み、音と音の出し方に触れる。			
11:00		That's all for today. See you next time.	<input type="checkbox"/> 元気よくあいさつ。			

ねらい……学習目標。

モジュール1の場合のDVDの動画流れ

シナリオに沿って、学習素材を選択します。DVDのボタンを選択



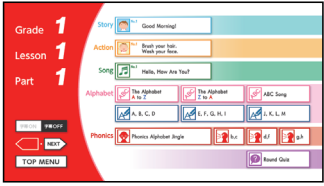
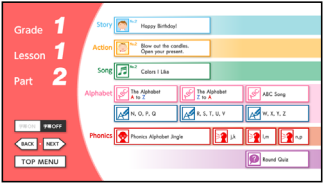

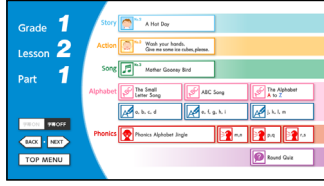
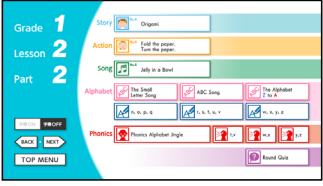
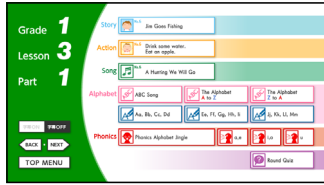
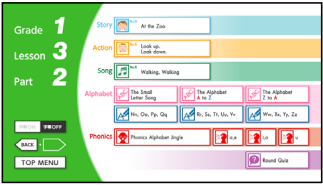
目安となる
進行時間です。

進行内容とクラスルーム
イングリッシュの指示です。

活動の意図、目的、
留意点です。

【年間計画案】

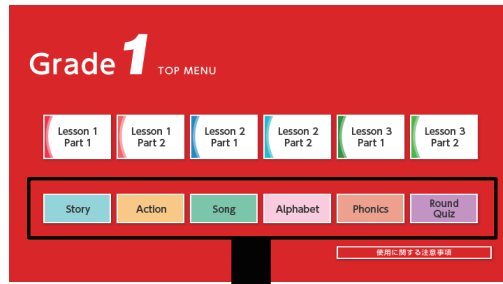
モジュール学習として週3日1回10分～15分のシナリオに準じた活動の場合

		Part 「パート」 1			Part 「パート」 2			ラウンドクイズ
<h2>Lesson 1</h2> <p>ラウンドのねらい</p>								
Round 1	英語にふれてみよう。よく見て、聞いて、感じよう。	モジュール 1	モジュール 2	モジュール 3	モジュール 4	モジュール 5	モジュール 6	モジュール 7
Round 2	英語をよく見て、聞いて、楽しもう。	モジュール 8	モジュール 9	モジュール 10	モジュール 11	モジュール 12	モジュール 13	モジュール 14
Round 3	たくさんの英語を見て、聞いて、声を出すことにチャレンジしよう。	モジュール 15	モジュール 16	モジュール 17	モジュール 18	モジュール 19	モジュール 20	モジュール 21
Round 4	英語を声に出してしゃべってみよう。	モジュール 22	モジュール 23	モジュール 24	モジュール 25	モジュール 26	モジュール 27	モジュール 28
Round 5	英語はことば。どんどん使ってみよう。	モジュール 29	モジュール 30	モジュール 31	モジュール 32	モジュール 33	モジュール 34	モジュール 35
<h2>Lesson 2</h2>								
Round 1		モジュール 1	モジュール 2	モジュール 3	モジュール 4	モジュール 5	モジュール 6	モジュール 7
Round 2	※ ラウンドのねらいはLesson 1と同じです。	モジュール 8	モジュール 9	モジュール 10	モジュール 11	モジュール 12	モジュール 13	モジュール 14
Round 3		モジュール 15	モジュール 16	モジュール 17	モジュール 18	モジュール 19	モジュール 20	モジュール 21
Round 4		モジュール 22	モジュール 23	モジュール 24	モジュール 25	モジュール 26	モジュール 27	モジュール 28
Round 5		モジュール 29	モジュール 30	モジュール 31	モジュール 32	モジュール 33	モジュール 34	モジュール 35
<h2>Lesson 3</h2>								
Round 1		モジュール 1	モジュール 2	モジュール 3	モジュール 4	モジュール 5	モジュール 6	モジュール 7
Round 2	※ ラウンドのねらいはLesson 1と同じです。	モジュール 8	モジュール 9	モジュール 10	モジュール 11	モジュール 12	モジュール 13	モジュール 14
Round 3		モジュール 15	モジュール 16	モジュール 17	モジュール 18	モジュール 19	モジュール 20	モジュール 21
Round 4		モジュール 22	モジュール 23	モジュール 24	モジュール 25	モジュール 26	モジュール 27	モジュール 28
Round 5		モジュール 29	モジュール 30	モジュール 31	モジュール 32	モジュール 33	モジュール 34	モジュール 35

【学校独自の活動の場合】

学習素材を組み合わせることで、学校の独自の使い方ができます。

- ・外国語活動と連動
- ・モジュール時間以外の単元で利用 など



Story

Good Morning!, Happy Birthday!, A Hot Day, Origami, Jin Goes Fishing, At the Zoo

TOP MENU

Action

Brush your hair, Wash your face, Blow out the candles, Open your present, Wash your hands, Give me some ice cubes, please, Fold the paper, Turn the paper, Drink some water, Eat an apple, Look up, Look down

TOP MENU

Song

Hello, How Are You?, Colors I Like, Mother Goosey Bird, Lily is a Bird, A Hunting We Will Go, Working, Working

TOP MENU

Alphabet

Page 1/2

Alphabet

Page 2/2

BACK TOP MENU

Phonics

Phonics Alphabet Jingle

TOP MENU

Alphabetは2つ分かります

Round Quiz

Lesson 1 1 2 3 4 5

Lesson 2 1 2 3 4 5

Lesson 3 1 2 3 4 5

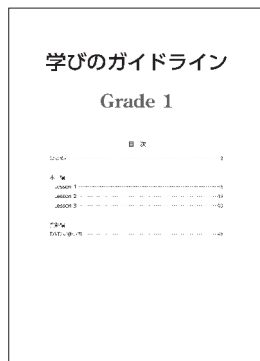
TOP MENU

【CD-ROMにおさめられているデータ】 必要に応じ、印刷して使用してください。

教員用

・学びのガイドライン

・モジュールシナリオ案 (105回分)



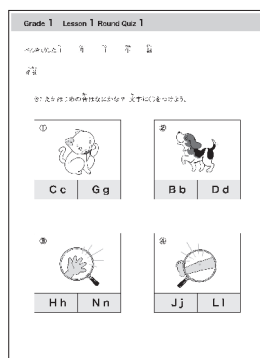
Grade	Lesson	Part	Round	Module																																												
1	1	1	1	1																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>単元</th> <th>教材</th> <th>教材の活用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>001</td> <td>Hello, everyone!</td> <td>1. Hello, everyone! 2. Hello, How are you? 3. Hello, How are you? 4. Hello, How are you? 5. Hello, How are you?</td> <td>1. Hello, everyone! 2. Hello, How are you? 3. Hello, How are you? 4. Hello, How are you? 5. Hello, How are you?</td> </tr> <tr> <td>101</td> <td>Let's wash the DVD.</td> <td>1. Let's wash the DVD. 2. Let's wash the DVD. 3. Let's wash the DVD. 4. Let's wash the DVD. 5. Let's wash the DVD.</td> <td>1. Let's wash the DVD. 2. Let's wash the DVD. 3. Let's wash the DVD. 4. Let's wash the DVD. 5. Let's wash the DVD.</td> </tr> <tr> <td>201</td> <td>Let's wash the DVD.</td> <td>1. Let's wash the DVD. 2. Let's wash the DVD. 3. Let's wash the DVD. 4. Let's wash the DVD. 5. Let's wash the DVD.</td> <td>1. Let's wash the DVD. 2. Let's wash the DVD. 3. Let's wash the DVD. 4. Let's wash the DVD. 5. Let's wash the DVD.</td> </tr> <tr> <td>301</td> <td>Let's wash the DVD.</td> <td>1. Let's wash the DVD. 2. Let's wash the DVD. 3. Let's wash the DVD. 4. Let's wash the DVD. 5. Let's wash the DVD.</td> <td>1. Let's wash the DVD. 2. Let's wash the DVD. 3. Let's wash the DVD. 4. Let's wash the DVD. 5. Let's wash the DVD.</td> </tr> <tr> <td>401</td> <td>Let's wash the DVD.</td> <td>1. Let's wash the DVD. 2. Let's wash the DVD. 3. Let's wash the DVD. 4. Let's wash the DVD. 5. Let's wash the DVD.</td> <td>1. Let's wash the DVD. 2. Let's wash the DVD. 3. Let's wash the DVD. 4. Let's wash the DVD. 5. Let's wash the DVD.</td> </tr> <tr> <td>501</td> <td>Let's wash the DVD.</td> <td>1. Let's wash the DVD. 2. Let's wash the DVD. 3. Let's wash the DVD. 4. Let's wash the DVD. 5. Let's wash the DVD.</td> <td>1. Let's wash the DVD. 2. Let's wash the DVD. 3. Let's wash the DVD. 4. Let's wash the DVD. 5. Let's wash the DVD.</td> </tr> <tr> <td>601</td> <td>Let's wash the DVD.</td> <td>1. Let's wash the DVD. 2. Let's wash the DVD. 3. Let's wash the DVD. 4. Let's wash the DVD. 5. Let's wash the DVD.</td> <td>1. Let's wash the DVD. 2. Let's wash the DVD. 3. Let's wash the DVD. 4. Let's wash the DVD. 5. Let's wash the DVD.</td> </tr> <tr> <td>701</td> <td>Let's wash the DVD.</td> <td>1. Let's wash the DVD. 2. Let's wash the DVD. 3. Let's wash the DVD. 4. Let's wash the DVD. 5. Let's wash the DVD.</td> <td>1. Let's wash the DVD. 2. Let's wash the DVD. 3. Let's wash the DVD. 4. Let's wash the DVD. 5. Let's wash the DVD.</td> </tr> <tr> <td>801</td> <td>Let's wash the DVD.</td> <td>1. Let's wash the DVD. 2. Let's wash the DVD. 3. Let's wash the DVD. 4. Let's wash the DVD. 5. Let's wash the DVD.</td> <td>1. Let's wash the DVD. 2. Let's wash the DVD. 3. Let's wash the DVD. 4. Let's wash the DVD. 5. Let's wash the DVD.</td> </tr> <tr> <td>901</td> <td>Let's wash the DVD.</td> <td>1. Let's wash the DVD. 2. Let's wash the DVD. 3. Let's wash the DVD. 4. Let's wash the DVD. 5. Let's wash the DVD.</td> <td>1. Let's wash the DVD. 2. Let's wash the DVD. 3. Let's wash the DVD. 4. Let's wash the DVD. 5. Let's wash the DVD.</td> </tr> </tbody> </table>					回	単元	教材	教材の活用	001	Hello, everyone!	1. Hello, everyone! 2. Hello, How are you? 3. Hello, How are you? 4. Hello, How are you? 5. Hello, How are you?	1. Hello, everyone! 2. Hello, How are you? 3. Hello, How are you? 4. Hello, How are you? 5. Hello, How are you?	101	Let's wash the DVD.	1. Let's wash the DVD. 2. Let's wash the DVD. 3. Let's wash the DVD. 4. Let's wash the DVD. 5. Let's wash the DVD.	1. Let's wash the DVD. 2. Let's wash the DVD. 3. Let's wash the DVD. 4. Let's wash the DVD. 5. Let's wash the DVD.	201	Let's wash the DVD.	1. Let's wash the DVD. 2. Let's wash the DVD. 3. Let's wash the DVD. 4. Let's wash the DVD. 5. Let's wash the DVD.	1. Let's wash the DVD. 2. Let's wash the DVD. 3. Let's wash the DVD. 4. Let's wash the DVD. 5. Let's wash the DVD.	301	Let's wash the DVD.	1. Let's wash the DVD. 2. Let's wash the DVD. 3. Let's wash the DVD. 4. Let's wash the DVD. 5. Let's wash the DVD.	1. Let's wash the DVD. 2. Let's wash the DVD. 3. Let's wash the DVD. 4. Let's wash the DVD. 5. Let's wash the DVD.	401	Let's wash the DVD.	1. Let's wash the DVD. 2. Let's wash the DVD. 3. Let's wash the DVD. 4. Let's wash the DVD. 5. Let's wash the DVD.	1. Let's wash the DVD. 2. Let's wash the DVD. 3. Let's wash the DVD. 4. Let's wash the DVD. 5. Let's wash the DVD.	501	Let's wash the DVD.	1. Let's wash the DVD. 2. Let's wash the DVD. 3. Let's wash the DVD. 4. Let's wash the DVD. 5. Let's wash the DVD.	1. Let's wash the DVD. 2. Let's wash the DVD. 3. Let's wash the DVD. 4. Let's wash the DVD. 5. Let's wash the DVD.	601	Let's wash the DVD.	1. Let's wash the DVD. 2. Let's wash the DVD. 3. Let's wash the DVD. 4. Let's wash the DVD. 5. Let's wash the DVD.	1. Let's wash the DVD. 2. Let's wash the DVD. 3. Let's wash the DVD. 4. Let's wash the DVD. 5. Let's wash the DVD.	701	Let's wash the DVD.	1. Let's wash the DVD. 2. Let's wash the DVD. 3. Let's wash the DVD. 4. Let's wash the DVD. 5. Let's wash the DVD.	1. Let's wash the DVD. 2. Let's wash the DVD. 3. Let's wash the DVD. 4. Let's wash the DVD. 5. Let's wash the DVD.	801	Let's wash the DVD.	1. Let's wash the DVD. 2. Let's wash the DVD. 3. Let's wash the DVD. 4. Let's wash the DVD. 5. Let's wash the DVD.	1. Let's wash the DVD. 2. Let's wash the DVD. 3. Let's wash the DVD. 4. Let's wash the DVD. 5. Let's wash the DVD.	901	Let's wash the DVD.	1. Let's wash the DVD. 2. Let's wash the DVD. 3. Let's wash the DVD. 4. Let's wash the DVD. 5. Let's wash the DVD.	1. Let's wash the DVD. 2. Let's wash the DVD. 3. Let's wash the DVD. 4. Let's wash the DVD. 5. Let's wash the DVD.
回	単元	教材	教材の活用																																													
001	Hello, everyone!	1. Hello, everyone! 2. Hello, How are you? 3. Hello, How are you? 4. Hello, How are you? 5. Hello, How are you?	1. Hello, everyone! 2. Hello, How are you? 3. Hello, How are you? 4. Hello, How are you? 5. Hello, How are you?																																													
101	Let's wash the DVD.	1. Let's wash the DVD. 2. Let's wash the DVD. 3. Let's wash the DVD. 4. Let's wash the DVD. 5. Let's wash the DVD.	1. Let's wash the DVD. 2. Let's wash the DVD. 3. Let's wash the DVD. 4. Let's wash the DVD. 5. Let's wash the DVD.																																													
201	Let's wash the DVD.	1. Let's wash the DVD. 2. Let's wash the DVD. 3. Let's wash the DVD. 4. Let's wash the DVD. 5. Let's wash the DVD.	1. Let's wash the DVD. 2. Let's wash the DVD. 3. Let's wash the DVD. 4. Let's wash the DVD. 5. Let's wash the DVD.																																													
301	Let's wash the DVD.	1. Let's wash the DVD. 2. Let's wash the DVD. 3. Let's wash the DVD. 4. Let's wash the DVD. 5. Let's wash the DVD.	1. Let's wash the DVD. 2. Let's wash the DVD. 3. Let's wash the DVD. 4. Let's wash the DVD. 5. Let's wash the DVD.																																													
401	Let's wash the DVD.	1. Let's wash the DVD. 2. Let's wash the DVD. 3. Let's wash the DVD. 4. Let's wash the DVD. 5. Let's wash the DVD.	1. Let's wash the DVD. 2. Let's wash the DVD. 3. Let's wash the DVD. 4. Let's wash the DVD. 5. Let's wash the DVD.																																													
501	Let's wash the DVD.	1. Let's wash the DVD. 2. Let's wash the DVD. 3. Let's wash the DVD. 4. Let's wash the DVD. 5. Let's wash the DVD.	1. Let's wash the DVD. 2. Let's wash the DVD. 3. Let's wash the DVD. 4. Let's wash the DVD. 5. Let's wash the DVD.																																													
601	Let's wash the DVD.	1. Let's wash the DVD. 2. Let's wash the DVD. 3. Let's wash the DVD. 4. Let's wash the DVD. 5. Let's wash the DVD.	1. Let's wash the DVD. 2. Let's wash the DVD. 3. Let's wash the DVD. 4. Let's wash the DVD. 5. Let's wash the DVD.																																													
701	Let's wash the DVD.	1. Let's wash the DVD. 2. Let's wash the DVD. 3. Let's wash the DVD. 4. Let's wash the DVD. 5. Let's wash the DVD.	1. Let's wash the DVD. 2. Let's wash the DVD. 3. Let's wash the DVD. 4. Let's wash the DVD. 5. Let's wash the DVD.																																													
801	Let's wash the DVD.	1. Let's wash the DVD. 2. Let's wash the DVD. 3. Let's wash the DVD. 4. Let's wash the DVD. 5. Let's wash the DVD.	1. Let's wash the DVD. 2. Let's wash the DVD. 3. Let's wash the DVD. 4. Let's wash the DVD. 5. Let's wash the DVD.																																													
901	Let's wash the DVD.	1. Let's wash the DVD. 2. Let's wash the DVD. 3. Let's wash the DVD. 4. Let's wash the DVD. 5. Let's wash the DVD.	1. Let's wash the DVD. 2. Let's wash the DVD. 3. Let's wash the DVD. 4. Let's wash the DVD. 5. Let's wash the DVD.																																													

児童用

・学びのきろく

Grade 1 学びのきろく		単元				
単元	1	2	3	4	5	
レッスン	1	2	3	4	5	
ラウンド	1	2	3	4	5	
べんきょうした日	/	/	/	/	/	
ラックス	①					
	②					
	③					
	④					
	⑤					
	⑥					

・ラウンドクイズ (15回分)



・フォニクスアルファベットシート (カラー/白黒)

